



木栄会通信

木栄会協賛創立65周年記念市報告

11月28日(金)に木栄会協賛創立65周年記念市が開催されました。75社・100名を数え盛況に開催することができました。師走を迎える11月の最終日にご参加いただいた皆様へ出荷・ご購入いただいたお客様に厚く御礼申し上げます。



開市に先立ち伊東社長より挨拶があり「簡単に今年を振り返れば、国内では総理大臣の交代、トランプ関税問題、最近では日中の関係性緊張化がある。中国輸出に関してはその影響も始めていると聞いている。国内の木材産業においては4号特例の見直し、物流の改正など法令の改正で環境が厳しくなる中、様々なコ



ストが上がっていることから住宅価格も上がり着工数の減少がみられ木材産業においては非常に厳しい状況となっている。そのような中、住設機器メーカーにおいては増収増益となつているところもある。一方この業界では、原木の高の製品安とよく言われるが決して原木は高いと思っていない。山側や造林のことを考えると補助金を頼らなければならぬ状況がみられている。そのため木材の価値をもっと業界一丸となりPRしていかなければならないと考えている。」とありました。

市では社長入札コーナーなどで賑わいを見せました。会員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご来市いただき誠にありがとうございます。皆様のおかげで協賛市を無事終えることができました。来年も是非、宜しくお願いいたします。



10月27日(月)に開催された『全日本木材市場連盟原木本部会』から先月号からの続きで、今回は、関西より西側の各地域の原木商況などをお伝えします。

(関西エリア)

奈良県内の市場が一つ閉鎖された。1市場減つて5市場になつていく。取り扱い、売上共に増加している。5月6月に下げていただいた悪くなるが今年はそれがなかった。

枝打ち、役物需要のヒノキは高値で取引されている。価格は良好で出材は伸びない。暑さ対策の労働時間減で出材が伸びにくくなつていく。

事業として捨て伐りもあったと思われる。今後の市況は川上のコスト増で価格によつては出材が減るかもしれない。皆伐もできておらず国有林物件の不落も多い。

国有林に対して業者も入札するの力がわいていない。また、林道に入るトラックドライブも減つていて出材自体危ぶまれている。バイオマス燃料ばかりが高値をつけ

12月号
Vol. 149

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木栄会事務局

〒八四九-0252

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇

TEL 〇九五五-二〇二二八三 (代表)

FAX 〇九五五-一八一二八五五

てA材・B材の価格が伸びない。建築用材の利用が増えなければC材は増えないのでいいバランスが大事である。

(中国地方)

全国的に材材が不足気味だというのが中国地方では例年通りの出材だった。単価が下がらなかったこともあり売り上げは全市場で伸びている。

取り扱い比率はヒノキ6割スギ4割で大型製材工場がヒノキ4m造材を求めているため3m造材が減っている。地元では3m造材を要望しているため不足感が出ていく。

チップC材の引き合いが強く、国有林システム材に関しては県外からも10,000の入札があつていく。

皆伐が増えているが鹿対策をしなければならぬhあたり50〜80万円の費用がかかってくる。

いなければ30万円ほどなので補助が必要になつていく。

(九州地方)

夏は出材減少している。9月から出材は戻ってきている。

スギは@12,500から@11,500まで下がってしまった。C材・D材は安定しているので@11,200〜

①1,300をキープするとみている。

(情報提供)

クリーンウッド法が改正され令和8年から報告義務が発生する。書類管理など大変になるので各社準備をしておくことをおすすめする。

木質内装にも補助を出したい。

物流効率化法により原木市場は第二種荷主になる。年間90,000tの取り扱いがある場合報告義務などが発生するため書類管理などが大変になってくる。

原木市場は運送会社さんに注文する立場で無いと説明したがおそらく報告義務は発生する。

下請法の改正により手形が原則禁止になったりするなど色々と業界を取り巻く状況は変わるので今後も適宜情報を出していく。

今年は建築需要の低下があり製品商況が厳しい状況でした。しかしながら猛暑や人手不足により原木の生産が伸びず価格相場はいとりました。

結果として全国的に原木市場は昨年比90%~100%の取扱量となったようです。

来年以降は法改正もあり対応する事項が増加するとみられ事務負担が増加する可能性がある。

このように結果となりました。

今後とも全国の情報を会員へ還元できるように取り組んで参ります。

(経営管理部 V課長)

木材動向①

◎素材

11月全社素材取扱量は44,800m³でした。

11月28日 晴天のなか木栄会協賛創立65周年記念市を開催する事ができ、関係者を含め1000名を超える来場者数となり盛大な記念市を行う事が出来ました。市売数量は木

栄会会員様をはじめ、佐賀・長崎・森管理署様の委託出荷、各方面の出荷者様より大量のご出荷をいただきまして、約2,200m³売り上げていただきました。感謝申し上げます。

11/28市売結果として
 桧丸太は4m14cm直 22,310
 22,430円/m³ 4m14cm小曲
 20,800~20,900円/m³ 4m
 16cm~18cm直 21,840円/m³
 21,910円/m³ 4m16cm
 18cm小曲 20,710円/m³ 2
 0,900円/m³ 4m20cm~22cm
 直 22,490円/m³ 22,730円/m³
 4m24cm~28cm小曲 20,
 700円/m³ 4m24cm~28cm直
 21,300円/m³ 21,500円/m³
 4m24cm~28cm小曲 20,0
 00~20,100円/m³ 3m16cm
 ~18cm直 21,000~21,300
 円/m³ 3m16cm~18cm小曲 1
 9,420円/m³ 3m20cm~22cm
 直 20,800~21,100円/m³
 3m20cm~22cm小曲 18,200

18,800円/m³ 元木は4m30c
 平上で24,000円/m³ 38,000
 円/m³ 4m40cm上で32,000円
 /m³ 50,000円台/m³で販売最
 高落札額は6m44cm 105,000
 円/m³で桧丸太は完売しました。

杉丸太は、4m14cm~16cm 直
 15,000円/m³ 4m14cm小曲 1
 2,800円/m³ 4m18cm~22cm
 直 13,500円/m³ 4m18cm~2
 2cm小曲 12,500円/m³ 4m24
 cm~28cm直 13,800円/m³ 4
 m24cm~28cm小曲 12,500円
 /m³ 元木4m30cm上で13,500
 /m³ 18,000円/m³ 60cm上で15,
 000~30,000円台/m³で販売
 最高落札額は4m72cm 50,000
 円/m³でした。杉丸太は数本売残り
 がありました。その他、樟 8,2m74c
 m 169,000円/m³でした。この1
 ケ月間、創立記念市に向けて準備は大
 変でしたが、報われた一日となりました。

今年も残すところあと1ヶ月となりました。創立記念市も終わり我々としては気持ちの緩みになりますが、怪我無く納市を迎えられるよう準備して参りますので是非今年最後の市足を運んでいただきますようお願いいたします。

(本社素材課 T課長)

◎製品

11月28日(金)木栄会協賛創立65周年記念市を開催致しました。天候

に恵まれて、多くのお客様や関係者の方々が来市されました。

市につきましては、社長札コーナーから始まり製品の入札が終わった後の居残り抽選会まで多くのお客様が残り、久しぶりに市に賑わいがありました。御来市されたお客様、出材された頂いた製材工場様、誠に有難うございました。

11月の当市場の相場は、
 ヒノキGR土台1等上4m105X105
 55,000円/m³ 63,000円
 /m³前月比は()
 ヒノキGR土台1等上4m120X120
 55,000円/m³ 63,000円
 /m³前月比は()
 ヒノキGR土台1等上4m105X105
 55,000円/m³ 63,000円
 /m³前月比は()
 ヒノキGR土台A
 4m105X105 80,000円/m³
 (前月比は())

スギGR母屋角1等上38,000円/m³
 40,000円/m³前月比は()
 スギKD母屋角特1 65,000円/m³
 68,000円/m³前月比は()
 スギGR平角特1 4m105X150
 180(120厚同じ) 40,000円/m³
 42,000円/m³前月比は()
 スギKD平角特1 4m105X150
 180(120厚同じ) 67,000円/m³
 72,000円/m³前月比は()
 スギGR小割(30X45, 45X45,
 45X60) 特1 プレナー 48,000
 円/m³ 53,000円/m³前月比は
 () スギGR間柱(30X105, 45
 X105) 特1 プレナー 52,000円
 /m³ 58,000円/m³前月比は



い) スギ野地板 巾 1.2×小 幅 3.0
000円/㎡ 36,000円/㎡(前月
比横ばい) スギKD柱 3φ105×10
5 A 4φ72,000円/㎡(前月比横
ばい) スギKD間柱 30×105, 45
×105 72,000円/㎡ 75,0
00円/㎡(前月比横ばい) スギAD間
柱 30×105, 45×105 64,0
00円/㎡ 66,000円/㎡(前月
比横ばい) スギKD小割 30×45,
45×45, 45×60 68,000円
/㎡ 75,000円/㎡(前月比横ば
い) となっております。

11月は記念市の開催で、お客様と
話をする機会が多くありました。話の
なかで、今年度は荷動きが昨年より悪
く、仕入れが難しい状況と言われる方
は多くありました。大手フレカット工
場や有力工場では、非住宅や集合住宅
の受注等で機械の稼働率が9割台まで
回復しているが、一般住宅については受
注が少ない状況です。また、リフォーム
物件も少なく荷動きが悪い状況が続い
ています。11月から年末まで忙しく
なってくる時期ですが、十分な受注を
確保している訳ではない為、荷動きが
不透明な状況です。

(製建設部 U主任)

初市商売繁盛と安全祈願祭のご案内
新年あけまして初市は今年も間近となりました。初
市商売繁盛と安全祈願祭を各店自前で開催致しま
す。先般船舶荷役場より祈願祭を行いましたが、
是非ご参加ください。

2025年 1月9日(金) 10時〜

皆様の参加をお待ちしております。



今回は相続登記の義
務化と所有不動産記録
証明制度についてお話
します。

山の立木を購入する
際、その山自身を調査
することも大事なので
すが、個人的にもっとも時間がかかる
と思うのが、相続登記未了地への対応
です。

相続登記未了地とは、その土地の名
義人が亡くなった後、相続が行われず
故人の名義のままになっている土地で
す。名義が故人のままだと、たとえその
配偶者や実子であっても法的な所有者
ではない為、立木の売買のために色々
手続きをして頂く必要があります。

また、山を調査する際、国土調査が
済んでいない山林では隣接所有者との
境界確認を行うのですが、その地番の
登記簿を取っても数世代前と思われる
名前の名義人で、現在の所有者が分か
らず、連絡の取りようが無い...という
こともしばしばです。

以上理由から、この相続登記未了
地には頭を悩ませている為、令和6年
4月1日から始まった相続登記の義務
化の動向にはひそかに期待を寄せてい
ます。同制度は、日本全国に存在する
「所有者不明土地」の解消の為に制定さ
れたものです。大雑把に言うと、
1 相続したら3年以内に登記を申請
すること
2 申請しないと10万円以下の過料が

科される場合があるという法律です。
実際のおおまかな流れとしては、①法
務局にて登記官が相続登記の申請義務
違反を把握の相続人に履行を催告③相
続人がこれに応じないと裁判所にて裁
判ということになるそう、山林所有
者の皆さんへの意識付になって下さる
と嬉しいですね。

また、同法律の一助として2026年
2月2日から始まるのが「所有不動産記
録証明制度」です。これは名義人の住所
と氏名をもとに、その人が日本全国に
所有しているほかの不動産が一覧で書
類として取得できるというものです。
請求場所は法務大臣の指定した法務局
で、請求できる人は名義人本人、名義人
の相続人、相続人の代理人などです。
この制度はどう役立つのか？

たとえば亡くなった母から不動産を
相続したいAさんが居たとします。母
が、居住市町村以外の他市町村、他県に
土地を持っているらしいけど、権利証が
見当たらないし非課税地なのか課税通
知も来てない...という場合に、指定の
法務局に行けば全ての所有不動産が分
かると、そういう利便性が考えられま
す。ただし母の「氏名と住所」が一致す
る不動産のみがリスト化されるので、
以前住んでいた市町村で取得し登記し
た、または婚前の苗字で取得した不動
産はリストから漏れてしまうので注意
が必要です。

手数料はいくらなのか？実際にこの
の法務局なら取得出来るのか？などま

だ発表されていないことも多いですが、
来年の2月2日、新制度のスタートに期
待したいところです。

所有不明土地の問題は全国的にも深
刻で、政府広報によるとその総面積は
九州本島の面積よりも広いそうです。
少しずつでもこの問題が解消され、私
たちも山主様にスムーズに施業の提案
ができるよう、今後も同法律制度を
周知していきたいと思っています。

(大分営業所森林整備部 日係長)



師走となり寒さも
日々増していますが、日
中との寒暖差が大きく、
それに加えインフルエン
ザも大流行となっていま
す。皆様は体調の維持が出来ていま
すでしょうか。私事ですが、11月初旬
にコロナに感染してしまい、40度以上
の発熱を伴う症状となりきつい思いを
いたしました。外出などもあまりして
いなかっただけで感染発症も全く分か
りませんが、皆様はいたつては感染発症予
防と体調管理のほどお気を付けくださ
い。

ここ数年、猛暑猛暑と暑さが酷くなっ
ていますが、12月6日土曜日は添田
町で水点下の気温となりました。先日、
添田町津野のお客様のお宅へ伺った際
にお聞きしたのですが、6日朝には水
点下5℃だったそうです。暑さが目立
つ近年でも12月ではあまり聞かない
気温となり、気候変動のおかしさを痛



感じた次第です。話は変わります。が、例年開催されている。添田小学校の卒業記念植樹が12月9日に開催されました。今年度の卒業となる6年生は、今年度春に添田町内の小学校が学級閉鎖となり記念植樹に参加出来た生徒は約半数となったそうです。しかし、今年度春に添田町内の小学校が統合されたため、生徒数が増え例年と変わらない生徒数の参加となったようです。添田町の取り組みを支援、賛同される企業の方々も年々増加しており、生徒と一緒に植栽してくれる方、そのサポートの方々も増えたと、今年は田川高校の生徒たちが数人参加されたので全ての参加人数は100名を超えていたようです。

記念植樹の内容としては、添田町の町有林にモンダンを植樹するもので、卒業生と支援企業の皆様が各所へ分かれて作業いたしました。私は支援企業の方々のサポートを担当するようになっていまして、今年で5回目ということもありスムーズにサポート出来たと思います。卒業生と接す



ることはなかったのですが、開会式で添田町町長の挨拶の中で今年度開校した新校舎の感想を聞かれた生徒の中から「めっちゃいいニサイコーです」など元氣な言葉や挨拶が聞かれ、こちらも清々しい気持ちでの参加が出来たと思います。

現在の北部九州の原木相場ですが、一般的にいうと杉、松ともに11月中旬まで下がり傾向であった相場が11月下旬より上がりはじめ、現在では高値に近くなっています。

詳細では、杉4m~4.6m~2.8cmまでの直、小曲グレードは強気で先月同時期と比較すると1,000円~2,000円ほどの上がり傾向、その他は横ばい。松も同じような内容で4m~4.6m~3.0cm上の直、小曲グレードで1,000円~2,000円の上がり幅となっています。

日中関係の悪化などの報道がなされていますが、原木輸出をされている方に伺ったところ、先行きの不透明感はあるが民間の業者間ではさほど影響はなく、特に大径材の輸出は順調なようです。米の価格高騰の時のように報道が先行し悪影響とまらないか心配ですね。

今年も残り僅かとなりました。来年に向けて、皆様へ健康と多幸をお祈りするとともに来年からも変わらず伊万里木材市場を御引き立てしていただくようお願い申し上げます。

(福岡営業所 K所長)

編集後記

◎クマ被害について、2か月に渡り話題にしているが、ニュースでも毎日のように報道がある。そこでふと気になった。この地方の林業関係者に被害はないのか？無事なのか？林野庁から1月7日付けで出された文書によると、10月に新潟県で林業関係者2名が測量作業中にツキノワグマに遭遇し負傷する事故が発生している。他にも6月に長野県で2名が襲われている。どちらも大事には至らなかった模様。しかし気が定まらない。2023年の記事になぜ農業に比べて林業関係者の熊被害は少ないのか？それは、林業は基本、針葉樹林の中で働いており、熊は餌となるどんぐりなど広葉樹林で活動するから...などと書かれてあったが、さすがにそれはのん気過ぎるだろう。林業木

材製造業労働災害防止協会の災害発生状況には、2015年に北海道で死亡災害が起きている。以下、速報の抜粋。森林調査のため、同僚5人とともに造林地に植栽木の枝払い作業を行っていたところ、一部の作業者が熊らしき黒い物体を発見して即座に避難したが、被災者だけ見当たらなかったため現場付近を捜索したところ、被災者が熊の巣穴付近でうつ伏せの状態に倒れているのを発見された。怖すぎる。環境省からクマ類の出没対応マニュアル改訂版なるものも出されている。講習会なども行われているようだ。しかし、チェーンソーも平気なクマも増えてきているとの証言もあり、相当気を付けていないと...とあったが、それだけでは不十分だろう。個々の力だけでは限界がある。業界全体の対策が急がれる。

12月19日(金)

納市

2025年の最後の市です！
本年も大変お世話になりました。

2026年(令和8年)1月9日(金)

商売繁盛と安全祈願祭

2026年も同平よろしくお祈りいたします！

伊万里木材市場

佐賀県伊万里市山代町福久津145番30
TEL 0955-20-2183 FAX 0955-28-2855
ホームページ https://www.imarimokuzai.co.jp